

競 技 注 意 事 項

- この大会は2025年度日本陸上競技連盟競技規則と本大会要領ながびに、その他顧問会議の申し合わせ事項による。
- 出場種目の招集時間がきたら招集所にて、自分のナンバーカードを競技者係に示し、出場する種目・組・レーン（試技順）を告げて確認を受けること。
 - 競技者係（招集所）の位置は、ゴール先の用器具庫内。
 - 招集終了後、勝手に招集場所を離れてはならない。移動は競技者係の指示に従うこと。
 - 他の種目と兼ねて出場する者は、その旨競技者係に申し出て競技の進行に支障のないようにする。
また、競技者係に2種目同時出場申請書（ダブルエントリー用紙）を提出すること。
 - リレー競技のオーダーの提出は、招集完了時刻の1時間前までに競技者係に提出すること。
（用紙は競技者係で用意する）遅れたチームは棄権として処理する。
 - 棄権をする場合は、あらかじめ競技者係に申し出ること。
 - 招集完了時刻に遅れた者は棄権したものとして処理する。
 - ナンバーカードは縫いつけるか、安全ピンで確実にとめること。（跳躍競技に出場する競技者は、腹部または背部のいずれか一方でよい。）
 - トラック競技の出場者とリレーの第4走者は招集の際、競技者係より腰ナンバーカードを借り受け、ランニングパンツの右腰やや後方に取り付ける。（フィニッシュ後は、必ず回収係の補助員に手渡すこと。）
 - 3000m以上の競技は、胸と背中にレーンナンバーをつけること。
 - 男女の競歩競技においては、制限時間を設ける。男子35分、女子37分までに4600mを通過できなかった場合は競技を中止させる。
- 競技者・監督といえども、その競技に出場するもの以外は、トラック・フィールド内に立ち入ることはできない。
 - セパレート競技においては、フィニッシュライン通過後も自分のレーン（曲線）に沿って走り、他の走者の妨害をしないようにする。
 - ボール以外の用具は競技場備え付けのものを使用する。但し、投てき用具は検定の上使用してもよい。
 - スパイクピンは11本まで、長さは9mm以下とする。
 - トラック競技で棄権者がある場合そのレーンはあけておく。
 - 公開練習の時間は1日目が9時15分、2日目が8時30分までとする。（開式通告の際は練習をしないこと）
- 中体連8位、高体連6位（但し、全道出場権を得た選手は8位）までの入賞者には賞状を授与する。
※高体連の表彰は、全道大会出場権を得た選手を対象に行う。
 - 競技進行上、競技開始時刻に多少の変更もありうるので、アナウンスを聞き漏らさないように注意すること。
 - 競技中のトラックを使った練習については、直線種目（100m、ハードル）と200mの時に、バックストレートを使用してもよいが、アナウンスの指示に従うこと。

※中学

- 円盤投の重さは、男子1.5kg・女子1kgとする。
- 跳躍競技のバーの上げ方（天候その他の事由により変更することもある。）

男子走高跳	120（練習）	125	130	・・・	150	以後3cm
女子走高跳	115（練習）	120	125	・・・	135	以後3cm
男子棒高跳	180（練習）	200	220			以後10cm
女子棒高跳	160（練習）	160	180	200		以後10cm
男子四種走高跳	105（練習）	110	115	・・・	150	以後3cm
女子四種走高跳	100（練習）	105	110	・・・	130	以後3cm

なお、同成績の場合における1位決定のためのバーの上げ下げは以下の通りとする。

走高跳（男女）	2cm	棒高跳	5cm
---------	-----	-----	-----

※高校

- 跳躍競技のバーの上げ方（天候その他の事由により変更することもある。）

男子走高跳	130（練習）	135	140	・・・	180	以後3cm
女子走高跳	110（練習）	115	120	・・・	140	以後3cm
男子棒高跳	300（練習）	310	以後10cm			
女子棒高跳	160（練習）	160	以後10cm			

なお、同成績の場合における1位決定のためのバーの上げ下げは以下の通りとする。

走高跳（男女）	2cm	棒高跳	5cm
---------	-----	-----	-----